

C-22 シリーズ

Premium Brewing System

取扱説明書



C-22



C-22 サーモブLOWER

目次

・ 安全上の注意(必ずお読みください)	3
・ 各マシンの仕様について	6
・ 準備する はず、確認を!	7
・ マシン各部の名称	8
・ 各部の名称と働き	10
・ オープニング作業	12
・ 抽出の手順	13
・ ウォーマー(保温プレート)の操作	14
・ クローズ作業	16
・ プログラミング方法	17
・ プログラミング項目	18
・ 各プログラミング項目の設定について	19
・ エラー表示	24
・ 故障かな?	25
・ 保証とアフターサービスについて	26
・ 保証書	27

安全上のご注意（安全に関する重要事項です必ずお読み下さい）

表示されているマークの説明



警告

この表示は誤った取扱いすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

注意

この表示は誤った取扱いすると人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

一般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。
修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行なわないで下さい。
水漏れや感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いてください。そしてすぐに販売店もしくは サービスセンターに連絡をして下さい
(電源をコード抜く時には感電をしたり火傷をしないようにして下さい。)
- 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。
そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体が水に濡れた場合や付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って
引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源につながれていないこと、また、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。
電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。
- 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行なってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意して下さい。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまづいたり、踏まれたりしないようにして下さい。感電
や火災や怪我の原因になります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。
専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないで下さい。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払って下さい。
- 部品の取付け、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なって下さい。
- コードやプラグが傷んでいる場合や正常に動かない時には作動をさせないで下さい。
- 付属品以外のものを使用しないで下さい。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないで下さい。
- 電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないで下さい。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んで下さい。

- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外して下さい。
- 本来の目的以外には使用はしないで下さい。
- お湯が抽出されている時には十分に注意して下さい。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項



警告

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所、又は、訓練を受けた要員が監視できる場所に据付して下さい。

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。
- 据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしたりしないようにして下さい。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのもをお使い下さい。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。又、接続する前にマシンの規格が供給される電源に適合していることを確認してください。
- 電源装置には、保護装置(20A 漏電遮断機)が設置されていることを確認して下さい。



注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となることがあります。
水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置したり、直接当たらない様に保護を行なってください。
- 設置周辺温度が45℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには 設置をしないで下さい。
内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。 熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には**0.5 メガパスカル (Mpa)以下の圧力**であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
軟水装置もしくは浄水器を使用することをお勧めします。

使用環境条件

気温: 10 - 45 ° C (凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。)

湿度: 80% 以下

硬度: 5° eh, 7° dH, 13° Fh

- (注)お湯では無く必ず水を給水してください。
- (注)水以外の飲料(例えばミルクなど)やミネラルウォーター類は使用しないで下さい。凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。

操作を行なう時の注意事項



- 給湯フォーセットは熱くなっていますので注意して取扱いを行なってください。火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯がかからないように常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないで下さい。感電の危険性があります。
- コーヒー抽出口やコーヒーを入れる容器の洗浄は規定どおりに実施してください。
洗浄を行わず放置しておきますと細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なって下さい。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なって下さい。
- 水の供給をしないでマシンを使用しないで下さい。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままでマシンを放置しないで下さい。
- 硬度の高い水を使用する場合には軟水器をしようしてカルシウム成分の固着を防いでください。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないで下さい。

マシンの毎日の清掃、特に抽出口やブルーイングコーン、デカンター、ポット等容器の洗浄を実施しないで故障が発生した場合には製品保証の対象となりません。

各マシンの仕様について

C-22 200V	寸 mm(幅×奥行×高さ)	W235 × D540 × H655
	使用電源	単相 200V 20A
	電気容量	3950W 19.8A
	ヒーター仕様	200V 3600W
	タンク容量	6L
	温度制御	温度センサー
	抽出方式	ダンプバルブ方式
	仕様シャワーヘッド	パープル
C-22 100V	寸法 mm(幅×奥行×高さ)	W235 × D540 × H655
	使用電源	単相 100V 15A
	電気容量	1260W 12.6A
	ヒーター仕様	100V 960W
	タンク容量	6L
	温度制御	温度センサー
	抽出方式	ダンプバルブ方式
	仕様シャワーヘッド	パープル
C-22 Thermo	寸法 mm(幅×奥行×高さ)	W232 × D515 × H781
	使用電源	単相 200V 20A
	電気容量	3160W 15.8A
	ヒーター仕様	200V 3075W
	タンク容量	11L
	温度制御	温度センサー
	抽出方式	ダンプバルブ方式
	仕様シャワーヘッド	パープル

※ コーヒーマシンは、水道直結の仕様となります。

1. 設置する

次のような場所に置いてください。

- 床に防水処理がされている場所
- 熱気・直射日光の当たらない場所
- 湿気が少なく、風通しの良い場所
 - 平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所
 - 電源プラグが掃除しやすい場所
 - 放熱スペースが確保できる場所
(左右 10cm 以上、後方 10cm 以上、上 30cm 以上)

2. コーヒーマシンを固定する

調整脚を回してコーヒーマシンが水平になるように調整する。

3. 給水を接続する

コーヒーマシン背面の給水口に給水ホースを接続する。水漏れしていないか接続を確認する。

4. 電源をコンセントに刺す

C-22 200V/サーモブルーワール : AC200V、20A を使用する。

C-22 100V : AC100V、15A を使用する。

まず、確認を！

上に物を置いていませんか？

ウォーマーは100°Cを超えて熱くなります。

次のような場所に置いていませんか？

熱気・直射日光のあたる場所

不安定で傾いたところ

湿気が多く、風通しの悪い場所

電源プラグが掃除しにくい場所(ほこりがたまり、発火の原因に)

放熱スペースは空いていますか？

湿気の多い、水気のある場所ではアースや漏電遮断器はつけていますか？

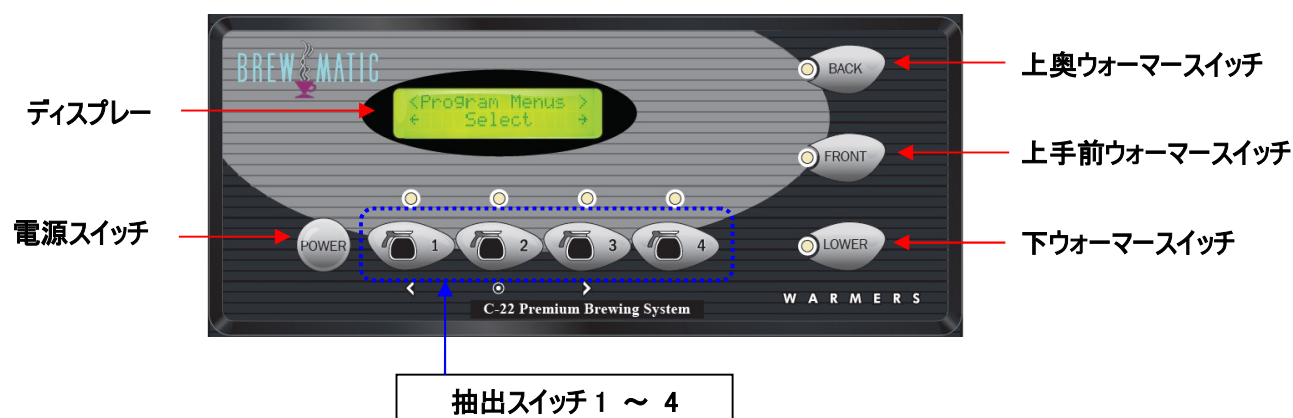
調理場など、どうしても湿気・水分の多い場所に置くときは、必ずアースや漏電遮断器の取り付けをお願いします。

マシン各部の名称

C-22 200V / 100V (デカンタータイプ)



操作スイッチパネル



出荷時の標準抽出湯量について

本製品は、出荷時に下記の湯量に設定しております。

(※設定する湯量は、予めお客様に合わせた湯量設定、または設置場所の水圧によって変動する場合がございます。)

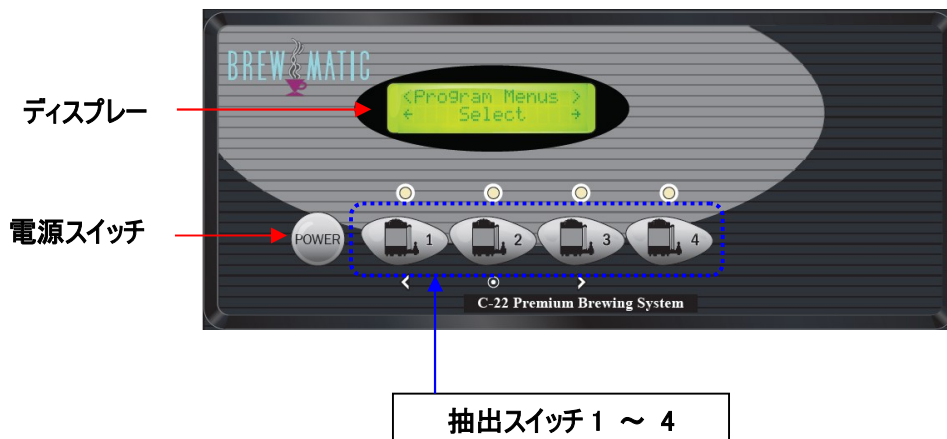
抽出ボタン	抽出スイッチ 1	抽出スイッチ 2	抽出スイッチ 3	抽出スイッチ 4
標準設定湯量	1800cc	1500cc	900cc	600cc

使用しない抽出スイッチが有る場合は、プログラムモードの **Coffee by Time**(19 ページ参照)と **Coffee Drip-Out**(21 ページ参照)の設定を 0 にして下さい。

C-22 サーモブローワー（ポットタイプ）



操作スイッチパネル



出荷時の標準抽出湯量について

本製品は、出荷時に下記の湯量に設定しております。

(※設定する湯量は、予めお客様に合わせて湯量設定している場合、または設置場所の水圧によって変動する場合がございます。)

抽出スイッチ	抽出スイッチ 1	抽出スイッチ 2	抽出スイッチ 3	抽出スイッチ 4
標準設定湯量	5000cc	3600cc	1800cc	900cc

使用しない抽出スイッチが有る場合は、プログラムモードの Coffee by Time(19 ページ参照)と Coffee Drip-Out(21 ページ参照)の設定を 0 にして下さい。

各部の名称と働き

電源スイッチ	コーヒーマシンの電源を入れるスイッチです。
抽出スイッチ 1	設定されているお湯を抽出するスイッチです
抽出スイッチ 2	設定されているお湯を抽出するスイッチです
抽出スイッチ 3	設定されているお湯を抽出するスイッチです
抽出スイッチ 4	設定されているお湯を抽出するスイッチです
下ウォーマースイッチ	下のウォーマー(保温プレート)のスイッチです。 尚、OFF の状態でも抽出する毎に自動でスイッチが ON されます。
上手前ウォーマースイッチ	上手前のウォーマー(保温プレート)のスイッチです
上奥ウォーマースイッチ	上奥のウォーマー(保温プレート)のスイッチです
ディスプレイ	様々な状況を表示します (タンク内温度、現在の状態、エラー表示など)
給湯フォーセット	お湯を取り出す蛇口です (タンク内のお湯を取りますので、抽出中は使わないで下さい。 湯量の変動や温度低下の原因となります)
ラッチ機能	オペレーターの方が安全にお使いいただくために、抽出中はコーンロックが下りてブルーイングコーンが 抜けないようにロックする機能です。



シャワー口..... 抽出ボタンを押した時、設定した量の湯が出ます。(21 穴のシャワーヘッド取り付け)

オーバーフロー出口..... マシンに異常な給水が発生した場合、タンク内から溢れた水(湯)を排出します。



シャワー口

オーバーフロー出口

抽出する時に使用する付属品

C-22 デキャンタ タイプ

ブルーイングコーン (付属品)	フィルターを敷きコーヒー粉を入れる容器
ガラスデキャンター (C-22 デキャンタータイプ 標準付属品)	コーヒーを受ける容器
ステンレスデキャンター(別売り)	コーヒーを受ける容器 保温性に優れ、 熱源無しで一定時間保温できます。

ブルーイングコーン



ガラスデキャンター



ステンレスデキャンター (別売り)



C-22 サーモブルーワー

ブルーイングコーン (付属品).....	フィルターを敷きコーヒー粉を入れる容器
3.8 リットルポット(別売り).....	3.8L コーヒーのポット。真空魔法瓶なので熱源無し一定時間保温できます。
5.6 リットルポット(別売り).....	5.6L コーヒーのポット。真空魔法瓶なので熱源無し一定時間保温できます。
8 リットルポット (別売り).....	8.0L コーヒーのポット。真空魔法瓶なので熱源無し一定時間保温できます。

ブルーイングコーン



C-22 サーモブルーワーは、下記写真のように様々なポットで抽出する事が可能です。

2.5L ポット(別売り)
モデル名: SYAH25



3.8L ポット(別売り)
モデル名: TXSG01



5.6L ポット(別売り)
モデル名: TXSG15

*置き台は外して抽出してください



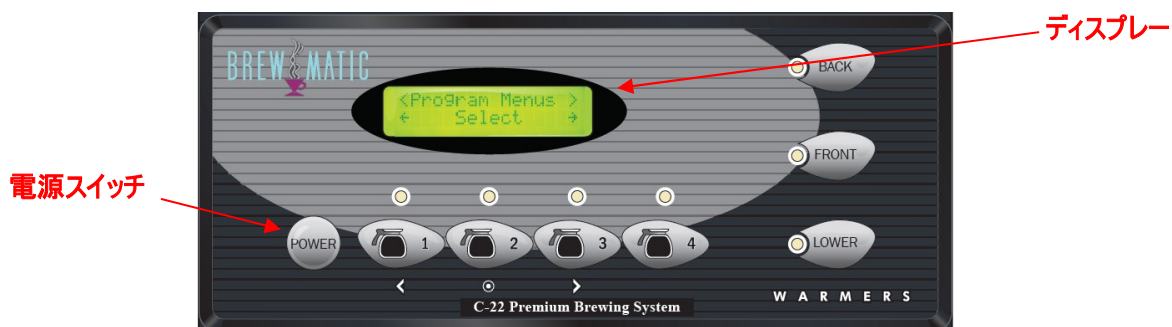
8.0L ポット(別売り)
モデル名: SGCB 80

*置き台は外して抽出してください



1. 電源を入れる

本体正面操作パネルの POWER スイッチを押すとディスプレイ（表示画面）が点灯します。



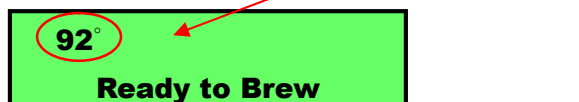
2. ウォームアップ

電源を ON にしますと、沸き上げを開始します。この時のディスプレイの表示は Heating と表示されます。



タンク内設定温度（初期設定 92°C）に達するまで沸き上げを行います。「**」はタンク内の温度を表します。沸き上げが完了すると、コーヒー抽出が可能になります。

この時のディスプレイの表示は



と表示されます。

初回沸き上げ時間の目安

C-22 200V デカンタータイプ：約 10 分

C-22 100V デカンタータイプ：約 35 分

C-22 サーモブLOWERワー ：約 20 分

抽出の手順

1. ブルーイングコーンにフィルターペーパーとコーヒー粉を入れて、マシンにセットして下さい。

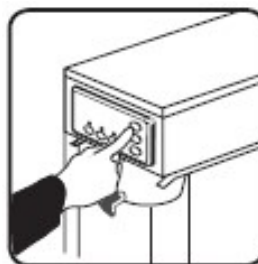
- 1-1 新しいフィルターペーパーをブルーイングコーンにセットします。
- 1-2 抽出するボタンに合ったコーヒー粉を定量入れます。この時コーヒー粉を平らになじませて下さい。
- 1-3 準備したブルーイングコーンをマシンにセットします。
マシンにセットする時は、レールに沿って挿入して下さい。



2. 抽出ボタンを押す

抽出の開始

抽出スイッチ 1～4 から抽出するボタンを選択し、押します。
ボタン毎に設定した湯量でコーヒーを抽出します。

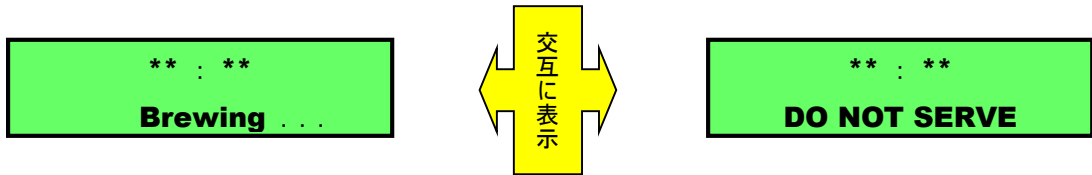


* C-22 サーモブローワーには、ウォーマースイッチはありません

スタンバイ機能: 抽出ボタンを押してもタンク内温度が設定温度まで達していない場合、
湧き上がるまで抽出は開始されません。設定温度まで沸き上がると自動的に抽出が開始致します。

抽出中

ディスプレイは、抽出中であることをお知らせするようにバックライトが点滅し、抽出完了までの残り時間と状況を交互に表示します。(**: ** は設定された時間表示です。)



また、コーヒー抽出開始と同時にラッチ(コーンロック)機能の作動と下ウォーマーが自動的に入ります。

抽出の完了

ディスプレイは時間表示から **Brew complete** と表示され、抽出の完了をお知らせする完了音が鳴ります。

同時にラッチ(コーンロック)機能を解除します。



ブルーイングコーンの抽出口からコーヒーが出ていないか確認して下さい。

コーヒーが出ていないようであれば抽出完了です。

抽出の停止 (キャンセル)

抽出ボタンを誤って押し、抽出してしまった場合やコーヒー粉を間違えて抽出した場合は、電源ボタンを押す事で抽出を停止する事が出来ます。



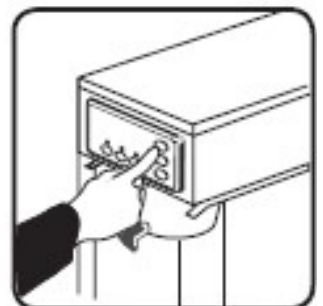
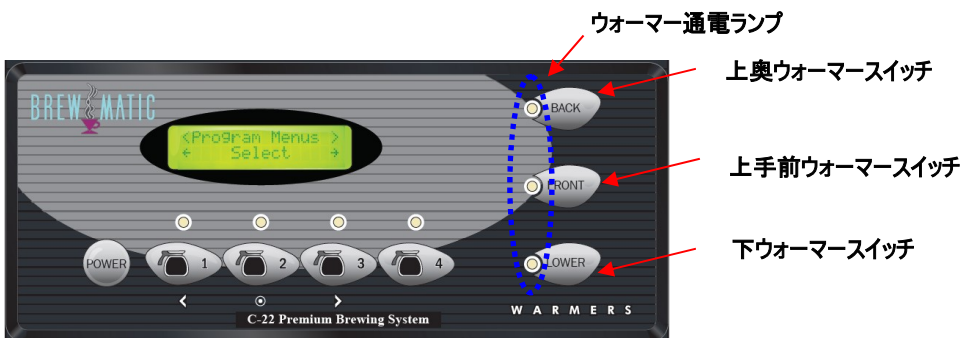
注意) 抽出を途中で停止した場合は、ブルーイングコーンの中にお湯がまだ残っている事がございます。そのまま引き抜きますと火傷の恐れがありますので、ブルーイングコーンの抽出口からコーヒーが出ていない事を確認してからブルーイングコーンを引き抜くようにして下さい

ウォーマー(保温プレート)の操作

※C-22 サーモブローワーにはウォーマーはありません。

C-22 デキャンタシリーズは、抽出ボタンを押すと同時に自動で下ウォーマースイッチが入り保温します。

- ・ 上手前や上奥ウォーマーは、各々のウォーマーボタンを押す事でボタン横のランプが点灯し、保温致します。
- ・ 使用しない場合は、そのウォーマーボタンを押す事でランプは消灯し、OFF となります。



各ウォーマーボタンを押す事でスイッチを ON や OFF します。

ラッチ(コーンロック)機能

コーヒーマシンの抽出ボタンを押すと同時にラッチ(コーンロック)機能が作動いたします。
これは、コーヒー抽出中に誤ってブルーイングコーンを抜けないようにする**安全装置**です。

抽出工程が終了しますと、ラッチ(コーンロック)機能が自動的に解除され、ブルーイングコーンが引き出せるようになります。


! **注意)** 抽出中は、ラッチ(コーンロック)機能が作動しております。ブルーイングコーンが抜けないからといって、無理矢理ブルーイングコーンを抜きますと機器が破損する恐れがありますので、ご注意ください。

ラッチ(ロック)機能作動前



ラッチ(ロック)機能作動後



 印の箇所より、抽出中ブルーイングコーンが引き抜けないようコーンロックが作動します。
ラッチの位置は、C-22 デカンタータイプはブルーイングコーンの右側、C-22 サーモブルーワーはブルーイングコーンの左側でございます。

1. 電源を切る

本体正面操作パネルの POWER スイッチを押すとディスプレイ（表示画面）が消灯します。



2. 清掃をする

- ・ブルーイングコーン、デキャンター又はステンレスデカンタ、ポットの洗浄を行なう。
- ・マシン本体・シャワーヘッド周辺を濡れた布巾等で拭き取る。



シャワーヘッド



水漏れ故障がある場合は水道元栓を閉めてください。

操作パネル



マシンをプログラムモードにします。

1. 電源スイッチを押してマシンの電源を OFF にします。
2. ボタン④を押しながら、電源スイッチを押すとディスプレイは次の表示になります。



この表示になりましたら、電源スイッチを離し、ボタン④を押し続けます。

3. 押し続けるとディスプレイ表示が下記のように変わり、コード番号入力の表示となります。



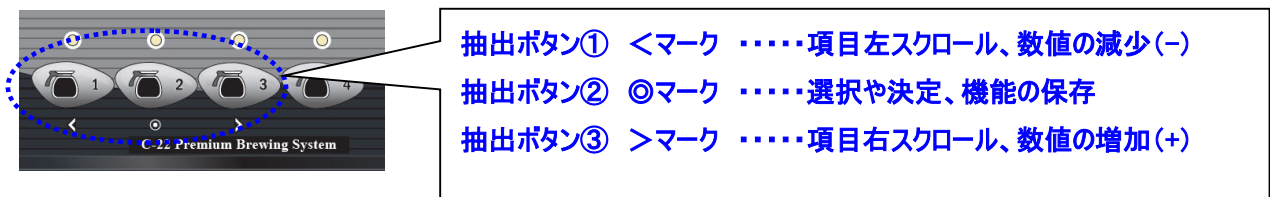
ボタン④を4回押し続けて入力します。

※ ボタンの入力を間違えた場合は、電源ボタンを押して OFF にしてから、手順 2.からやり直してください。

4. ディスプレーが下記表記となり、プログラムモードに入ります。



プログラムモードでは、設定や項目を切り替えるために抽出ボタン①, ②, ③のボタンで操作します。



プログラミング項目 Menu tree

プログラムメニューの項目から選択してプログラム設定を行います。プログラム設定は下記の順序で移行します。

	項目	概要	
	Program Menus	プログラムモード初期画面	
	↓		
1	Coffee by Volume	各ボタンを選択し、湯を抽出させ目視にて湯量設定を行います。	
	↓		
2	Coffee by Time	各ボタンを選択し、湯量設定を Timer の数値増減で調整出来ます。	
	↓		
3	Coffee Preinfusion	各ボタンに蒸らし抽出の設定を行います。 この項目を設定している時は、Pulse(間欠)抽出設定ができません。	
	↓		
4	Coffee Pulse	各ボタン毎に間欠抽出の設定を行います。 この項目を設定している時は、Preinfusion(蒸らし)抽出設定ができません。	
	↓		
5	Coffee Drip-Out	各ボタンの完成時間を調整。 抽出が止まった後、コーンの中にはまだコーヒーが溜まっております。 その溜まったコーヒーが落ちきるまでを調整します。	
	↓		
6	Temperature	温度設定(°C) 80°C~94°Cまで1°C毎の増減が可能。標準設定は92°C	※
	↓		
7	Energy Save Mode	標準設定はOFFです。 抽出後4時間何も押さない状態ですと自動的にOFFになる	※
	↓		
8	Brew Count Odom.	累計リッター数の表記 リセット可能	
	↓		
9	Brew Count Total	累計リッター数の表記 リセット不可	
	↓		
10	Master Reset	プログラムレシピを初期設定値へ戻す	※
	↓		
11	Service Call	サービスエラー時に表示する番号などを入力できます。	※
	↓		
12	Banner Name	ディスプレイに表示する名前などを入力できます。	
	↓		
13	P-Maintenance	リッター数設定により、浄水器交換を促すアラームを出す。 当社浄水器ご使用の場合、20000リッター設定しております。	※
	↓		
14	Beeper On/Off	Beeper 音の On/Off 設定	
	↓		
15	Disp1. Brew Time	ディスプレイに抽出中のカウントを表記の On/Off	
	↓		
16	Quality timer	下ウォーマーのタイマー設定を行います。 C-22 サーモブルーワーの場合は、省略されます。	
	↓		
17	Warmers setting	各ウォーマーの出力調整の設定をします。標準設定は90% C-22 サーモブルーワーの場合は、省略されます。	
	↓		
18	Model select	この項目は、変更しないで下さい。プログラムが初期の状態へ変更します。 マシンのモデルを選択します。	※
	↓		
	Exit	プログラムモードの終了 プログラムモードから出て、通常使用の状態に戻ります。	

※印の箇所は、マシンの機能的な設定のため、弊社指定サービスマンが操作する項目となります。

Program menus
← **Select** →

プログラムメニューにして
ボタン①やボタン③にて項目を移行します。



ボタン① <マーク項目左スクロール、数値の減少(-)
ボタン② ◎マーク選択や決定、機能の保存
ボタン③ >マーク項目右スクロール、数値の増加(+)

1. Coffee by Volume

各ボタンの抽出量の設定を抽出させながら調整が出来ます。この時、湯量を計測できる計量カップを用いて下さい。

ボタン②を押し、この項目を選択します。ディスプレイは下記の表示となります。

Select Brew Button!

調整したいボタンを選択すると そのボタンのランプが点灯します。

Press BREW 0:00 to Start Time

左記表示となりましたら、もう1度調整するボタンを押すと抽出がスタートし、同時にタイマーカウントします。

Press BREW X:XX to Stop TIME

適量になりましたら、調整したボタンを押す事で抽出は停止します。
Complete !と表示し、その設定湯量を記憶します。

Coffee by Volume
← **Select** →

ディスプレイは項目選択の表示に戻ります。
続けて他のボタンを調整する場合は、ボタン②を押しします。

2. Coffee by Time

各ボタンの抽出量の設定をタイム設定にて調整が出来ます

ボタン②を押し、この項目を選択します。ディスプレイは下記の表示となります。

Select Brew Button!

調整したいボタンを選択すると そのボタンのランプが点灯します。

Time X:XX ex
← **Select** →

- ・ディスプレイ上に現在の設定時間が表示され、カーソルが点滅しています。
- ・タイマーの数値を変更するには、ボタン①とボタン③でカーソルを移動させます。
- ・カーソルをタイマーの変更する箇所に合わせて、ボタン②を押す事で数値が増加します。(長押しでも可)
- ・変更が終わりましたら、ボタン①やボタン③でカーソルを **ex** に合わせ、ボタン②を押し、設定したタイムを記憶します。

Coffee by Time
← **Select** →

ディスプレイは項目選択の表示に戻ります。
続けて他のボタンを調整する場合は、ボタン②を押しします。

3. Coffee Preinfusion

各ボタンの蒸らし抽出機能の有無を設定できます。初期設定では OFF に設定しております。

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ 調整したいボタンを選択します。
- ・ ボタン①やボタン③を押す事で設定数値が増減します。設定範囲は 10 秒毎で Off~60 秒までとなります。
右の設定は、最初に 10 秒抽出して 10 秒間蒸らす抽出設定となります。
- ・ 設定が完了しましたら、ボタン②を押し Saving Complete!と表示、記憶され項目選択の表示に戻ります。



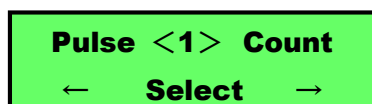
4. Pulse Brew

各ボタンの間欠抽出機能を調整できます。初期設定では OFF に設定しております。

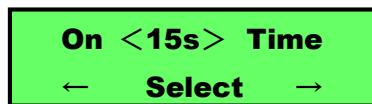
- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ 調整したいボタンを選択します。
- ・ まず始めにボタン①やボタン③を押し、間欠抽出するパターン A~E を選び、ボタン②で選択します。

パターン	
A	自動で、10 秒抽出、5 秒間蒸らす抽出設定。抽出完了まで繰り返す。
B	この機能は、将来的な機能なので使用しません。
C	自動で、25 秒抽出、10 秒蒸らす抽出設定。抽出完了まで繰り返す。
D	最初 30 秒抽出、その後の抽出と蒸らす秒数をマニュアルで設定します。 最大蒸らし回数 20 回。ON/OFF の設定範囲=5~150 秒
E	抽出、蒸らし時間をマニュアルで設定出来ます。 最大蒸らし回数は 24 回。ON/OFF の設定範囲=0~150 秒

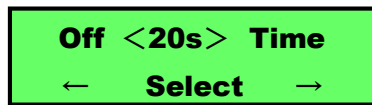
- ・ パターン D・E を選択した場合は、マニュアルで抽出と蒸らす秒数を下記の要領で設定します。



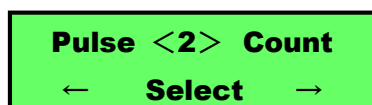
間欠の 1 回目設定をします。ボタン②を押しします。



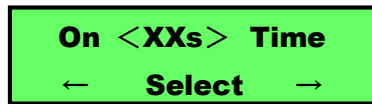
抽出する秒数をボタン①と③で増減させ、ボタン②で決定。



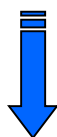
蒸らす秒数をボタン①と③で増減させ、ボタン②で決定。



間欠の 2 回目設定をします。ボタン②を押しします。



抽出する秒数をボタン①と③で増減させ、ボタン②で決定。
この操作を間欠抽出する回数分設定していきます。
ON time を 00 秒に設定するとその時点の回数で終了となりマシンに記憶します。



ボタン②を押しして記憶され、ディスプレイは項目選択の表示に戻ります。

5. Coffee Drip-Out

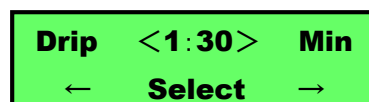
各ボタンの完成時間を調整します。

完成時間とは： 抽出が終わった(電磁弁が閉じた)あと、ブルーイングコーンにはまだコーヒーが溜まっており、その溜まったコーヒーが落ちきるまでの時間のことです。



注意) この時間を短く設定すると、ブルーイングコーンからまだコーヒーが落ちている最中にラッチ機能が解除され、ブルーイングコーンを引き抜いた際に残った湯で火傷する恐れがありますので、短く設定する事は避けて下さい。

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ 調整したいボタンを選択します。ディスプレイは右記表記となります。
- ・ ボタン①やボタン③を押す事で設定時間が5秒毎に増減します。
- ・ 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

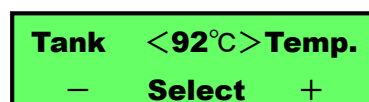


6. Temperature

タンク内の温度設定の調整が出来ます。 **初期設定値 92℃**

設定温度範囲 80℃～94℃まで設定が可能です。

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ ディスプレーに現在の設定温度が表示しています。
- ・ ボタン①やボタン③を押す事で設定温度が1℃毎に増減します。
- ・ 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。



7. Energy Save Mode

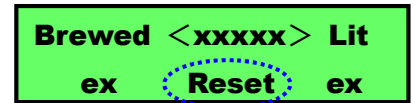
エネルギーセーブ機能の有無を設定出来ます。 **初期設定は OFF としています。**

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ ディスプレーは下記表示となり、機能を表示します。
 - < Off > : エネルギーセーブ機能を使用しない。
 - < On > : 最後の抽出から何も押さない状態で4時間経過するとマシンは自動的にOFFとなります。
 - < On-60℃ > : 最後の抽出から何も押さない状態で4時間経過するとマシンは自動的にOFFとなりますがタンク内の温度を60℃に保つようヒータリングします。
- ・ 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

8. Brew Count Odom

マシンが稼働したトータルリッター数を表示します。カウントを初期状態(リセット)にする事ができ、再度 0 からスタートさせ経過リッター数を見る事が出来ます。

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ ディスプレーは右記表示となり、現在のリッター数を表示します。
- ・ その状態からボタン①とボタン③を押すとそのモードから出ます。
- ・ リセット(0に)する場合は、ボタン②を押します。
- ・ 選択した機能が実行され項目選択の表示に戻ります。

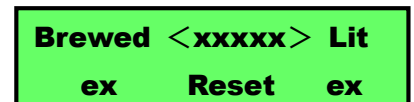


The image shows a green LCD display with a black border. The text on the display is: "Brewed <xxxxxx> Lit" on the top line, and "ex Reset ex" on the bottom line. The word "Reset" is circled with a blue dotted line.

9. Brew Count Total

マシンが稼働したトータルリッター数を表示します。カウントを初期状態(リセット)にする事ができません。

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ ディスプレーはマシンが稼働した Total(累積)のリッター数が表示します。
- ・ 再びボタン②を押しますと、項目選択の表示に戻ります。



The image shows a green LCD display with a black border. The text on the display is: "Brewed <xxxxxx> Lit" on the top line, and "ex Reset ex" on the bottom line.

10. Master Reset

設定したプログラムレシピを工場出荷状態へ戻す事が出来ます。

11. Service Call

サービスエラーが発生した時にディスプレイ表示に番号などを表示する事が出来ます。

12. Banner Name

設定しますと、マシン OFF や待機中のディスプレイ表示に入力した文字を表示する事が出来ます。

13. P-Maintenance 当社浄水器をご使用の場合、推奨交換時期である 20,000 リッターで設定しています。

リッター数設定により、設定したリッター数に到達した場合、ディスプレイ表示にてお知らせします。

14. Beeper On/Off

ボタンを押した時や抽出完了時等の Beep 音の有無を選択できます。

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ ボタン①やボタン③で **On(機能させる)**, **Off(機能させない)** を切り替えます。
- ・ ボタン②にて切り替えた機能を実行させ、項目選択の表示に戻ります。

15. Disp1. Brew Time

ディスプレイに抽出時のカウントアップタイマー表示の有無を選択できます。

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ ボタン①やボタン③で **On(機能させる)**, **Off(機能させない)** を切り替えます。
- ・ ボタン②にて切り替えた機能を実行させ、項目選択の表示に戻ります。

16. Quality Timer

下ウォーマーのみにウォーマータイマーを設定します。 **標準設定 30分**

設定範囲 Off, 20分～120分

(OFFの場合は、ウォーマータイマーは作動せず、ウォーマースイッチをONにすると加熱を続けます。)

ボタン②にてこの項目を選択します。

- ・ ディスプレーは右記表記となります。
- ・ ボタン①やボタン③を押す事で設定時間が10分毎に増減します。
- ・ 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

タイマーが作動すると 右記表示で点滅し下ウォーマーの加熱は続けます。
解除するには、下ウォーマーを切るか、新たに準備し抽出ボタンを押します。

Time < 30 > Min
- Select +

Brew Fresh Coffee
Ready To Brew

17. Warmers settings

各ウォーマーの出力設定が出来ます。 **標準設定 90%**

この機能は最適な保管温度を保つようにコントロール基盤にて、ウォーマー電源のON、OFFを繰り返し、温度制御させる機能です。

設定範囲 50%～100%

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ ディスプレーは右記表記となります。
- ・ 設定したいウォーマーボタンを押します。
- ・ 現在の設定値 %が表示しますので、ボタン①やボタン③を押す事で設定時間が1%毎に増減します。
- ・ 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

Select Warmer
Button!



設定するウォーマーボタンを押す

Power < 90 > %
- Select +

18. Model select

マシンのモデルを選択



注意) モデル選択は、出荷時にモデルを設定して出荷しています。

モデルの変更を行った場合は、設定しているプログラムレシピが初期化(リセット)されますので、変更行わないで下さい。

全ての設定が完了しましたら、項目をEXITに合わせ、ボタン②を押してプログラムモードを抜けます。

プログラムモードを抜けますと通常使用のディスプレイの状態に戻ります。

C-22 シリーズは不具合発生時、ディスプレイにエラーが表示されると共に音が鳴り、ディスプレイバックライトが点滅します。

1. 給水異常のアラーム表示

(000) 000-0000EXT (0000)
Water Level ERR.

原因： 初回給水時にタンク満水までにかかる時間が 10 分以上経過した。

もしくは、通常使用中の給水時に 1 分 26 秒以上経過した場合にこのエラーは表示します。

処置： 給水元栓が閉まっているか確認して下さい。

マシン後ろ側から接続する給水ホースが折れ曲がっていないか確認して下さい。

2. 温度センサー感知異常のアラーム表示

(000) 000-0000EXT (0000)
Sensor Error

原因： 温度センサーがタンク温度を感知できない。

処置： 一度マシン背面下位置の主電源スイッチを OFF にして、ON にして下さい。

解決しない場合は、ご使用を止め、弊社コールセンターにご連絡下さい。

3. 過剰温度検知のアラーム表示

(000) 000-0000EXT (0000)
Over Temp. Error

原因： 温度センサーが 98℃以上を感知しました。

処置： 一度マシン背面下位置の主電源スイッチを OFF にして、ON にして下さい。

解決しない場合は、ご使用を止め、弊社コールセンターにご連絡下さい。

故障かな？（お問い合わせや修理を依頼される前にご確認を。）

こんな場合は	ここが原因	直し方
ボタンを押しても通電しない	主電源スイッチが入っていない ブレーカーが落ちている	主電源スイッチ(背面)を上押し、全面の POWER スイッチを押す ブレーカーを入れる 復旧しない場合、サービスへ連絡
抽出量が不安定	抽出量設定が不適切 給水が遅い、水圧が低い 給水ホースが折れている シャワーヘッドが付いていない スケールが固着した	各抽出ボタンの量設定を行う 給水バルブを全開に開く 給水ホースの折れを直す シャワーヘッドを取り付ける サービスへ連絡
コーヒーがペーパーフィルターやバスケットからあふれる	バスケットが付いていない シャワーヘッドが付いていない ペーパーフィルターのサイズが小さい ペーパーフィルターを数枚重ねた コーヒー粉の入れすぎ	バスケットを取り付ける シャワーヘッドを取り付ける 標準サイズ:フィルター330を使用する ペーパーフィルター1枚で使用する 規定の粉量を使用する
コーヒーがぬるい	Quality Timer が作動した ガラスデカンタフタが付いてない 湯せんしていない ウォーマー出力が低い エアコンの風や冷えた外気が当たる	下ウォーマーのスイッチを入れる ガラスデカンタのフタを付ける ステンレスデカンタやポットは湯せんをしてください。(空抽出) ウォーマー出力設定 (Warmers settings)を確認(標準は 90%) ウォーマー出力を 100%に設定する。 冷えた風を遮断するか、設置場所を変える
給湯フォーセットから湯が漏れる	パッキンの消耗	パッキンを交換する
シャワーヘッドから水漏れ	ダイヤフラムの消耗 スケールが固着した	サービスへ連絡
オーバーフローから水漏れ	部品トラブル 給水電磁弁に異物が挟まった	POWER を切る 給水バルブを閉める
エラー表示	Water Level ERR. Sensor Error Over Temp.Error	前ページ P24 を参考に対応

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間: 365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書 (業務用マシン)

型 名	ブルーマチック社製 C-22シリーズ
シリアル番号	
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※ お 客 様	お 名 前
	住 所
	〒
	電話 ()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で目付、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行えず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合（事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。）

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要となる費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご連絡ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改進行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠 等）の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用消耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時までに発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

<メモ>

<メモ>

<メモ>



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

大阪(営)：大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9 阿波座パークビル 5F

福岡(営)：福岡県福岡市博多区豊 1-5-24 丸信ビル 108

<http://www.brewmatic.co.jp/>



120321